

坪内先生について

宮本百合子

青空文庫

坪内先生に、はじめて牛込余丁町のお宅でおめにかかったのは、もう十数年前、私が十八歳の晩春であつたと思う。両親が私の書いたものを坪内先生に見ていただくようにきめて、母が私を連れ余丁町のお家を訪ねたのであつた。

私は受け身に、きめられた手筈にしたがつて永い道を車にのつて行つた。

二階のお座敷に、平たくて大きいテーブルがあつたように覚えている。床の間には大きい支那の石刷がかかつていたと思う。そこへ、どちらかというとき速くて軽い跣音が階子をのぼつて来て、並んで坐っている私たち母子の後から坪内先生が現われた。

その頃もう白い髭であられた。兵児帯をゆるく巻きつけ、抑揚にとんだ声で、

「ヤア、これは」

というような言葉をかけられた。

母がどんな挨拶を申したか、私が何と申したのか今全く覚えていない。私は女学生の袴をはいて坐つて、おそらくただお辞儀をしただけであつたろう。

原稿を翻される手つき、それを伏せて左手をその上においたまま一寸上体をのり出すようにされての物云い、私は祖父というものを知らずに育つたから、坪内先生の白いお髭や

物腰やに衰えぬ老人の或る瀟洒たる柔軟性というようなものを感じ大変注意をひかれた。粹なところがおありになった。私は、日本の粹というものを持ち合せないもので、そのことを自身遺憾としていないたちの人間である。先生と自分とが違ったたちの人間であることを、私は尊敬のうちに漠然と感じ、それは先生が芝居の神様ののような立場に既に久しくおられるからのところもあろうかと、幼稚ながら考えたりした記憶がある。

坪内先生は、私の原稿を細かく読んで下さり、例えばこういう意味の重大な注意を与えて下さった。一旦作品の中に登場した人物がどこかでスーと消えてはいけない。必ず結着ある退場をするように描かれなければならないし、又スーと立ち消えるような重要性のない人物がドタドタ作品の中に出て来ることはよくない、と。

これは、あらゆる時代に小説を書く上での意味ある注意として役立つものであろう。

先生は、その時に、小説に師匠はいらぬ、お前はお前のやりたいようにやって行け、という意味のことをも云われたと思う。何しろ十八や九の小娘が小説を書き出し中央公論に発表されたと云つても、謂わば芸術家としてそれはまだ海のものとも山のものともつかず、前途は茫漠としている。先生は、人生の練達者であられたから、恐らく様々な複雑困難な、日本の社会では特に女にとって面倒な将来の永い路を見とおされて、大乘的激励を与えて

下さったのであつたろうと思う。

それから、案の定私のところには生活のいろいろな大小の濤がおこり、十何年間に先生の宅へ上ったのは果して何度ぐらいであつたろうか。

坪内先生の日本の文学における業績については私が敢て云うを俟たないものであるが、先生と私一箇との間に在った歴史的時間の内容は日本の明治大正史が語るよう極めて豊富であつて、年齢の差以上のものがあつたことはまことに興味あることであつたと思う。

私にうかがい知られた先生の御氣持の片鱗には私にわからなかったことがあり、私の過去数年の生活は、逆に先生にいかなる御感想を抱かせたであらうか。おめにかかれれば、先生はああいう方であるからそのない、鷹揚な、包括力ある言葉をかけて下さつたであらうと思う。

坪内先生は非常に聰明な資質の先達者であつた。正宗白鳥氏が先日、逍遙博士は文学の師であるばかりでなく生死に処する道を教えた方であるという感想を書いておられたが、私は坪内先生の一生をあるべきところにあつて完璧たらしめた先生の聰明、努力、達見、現実性を学ぶとすれば、それは私の時代のものにとつては必然的に白鳥氏の言葉にふくまれているものとは全く相異した形をとつて、現実にはあらわれて来るであらうと面白く思う。

のである。

〔一九三五年四月〕

青空文庫情報

底本：「宮本百合子全集 第十卷」新日本出版社

1980（昭和55）年12月20日初版発行

1986（昭和61）年3月20日第4刷発行

底本の親本：「宮本百合子全集 第八卷」河出書房

1952（昭和27）年10月発行

初出：「文芸」

1935（昭和10）年4月号

入力：柴田卓治

校正：米田進

2003年1月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

坪内先生について

宮本百合子

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>